

令和8年度 第1回北栄町教育行政評価委員会

日 時 令和8年7月3日(金) 午後3時00分～

場 所 北栄町役場大栄庁舎3階 第1委員会室

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 会長等の選出について

会長：_____ 会長代理：_____

・令和8年度北栄町教育行政評価委員（敬称略）

氏 名	備 考
野津 伸治	学識（鳥取短期大学教授）
西村 文伸	地域
福光 悦子	保護者

任期 令和8年6月1日～令和9年5月31日まで

(2) 評価方法、令和8年度評価スケジュールについて

①評価方法

評価シート（下記1～9項目）を総合的に勘案しA～Dで評価する

A	目標を超えて達成した、効果的で適切な取り組みを行っている、 目標達成に向けて成果をあげている
B	概ね目標を達成した、効果的な取り組みを行っている、 目標達成に向けて一定の成果をあげている
C	取り組んでいるが達成が不十分である、成果に不十分な点がある、 取り組みに疑問がある
D	取り組み・成果とも不十分、取り組みの見直しが必要

（評価シートの記載項目）

- 1 設定した評価指標（1～3項目）の達成率
- 2 事業の妥当性（施策目達成の手段として適当か）※選択式
- 3 事業の有効性（目的達成に有効な事業であったか）※選択式

- 4 事業の効率性（費用対効果はどうであったか）※選択式
- 5 事業（サービス）の公平性（対象や受益者負担の設定は適切だったか）※選択式
- 6 事業の実施状況（取り組みが予定どおり進捗したか）※選択式
- 7 事業コスト（予算額、職員数、決算額）
- 8 中間点検
- 9 期末の分析（課題と今後の方針）

②スケジュール

- ・ 7 月 3 日

第 1 回評価委員会

（事業概要・設定目標確認）
- ・ 10 月下旬

第 2 回評価委員会

（中間期評価）
- ・ 3 月下旬

第 3 回評価委員会

（最終評価）
- ・ 翌年度 6 月下旬 評価報告書作成、議会提出、公表

（３）令和 8 年度外部評価対象 10 事業について（事業概要・設定数値目標等の確認）

- ・ 評価対象事業： 10 事業 ※全 84 事業からの抽出

4 その他

- ・ 会議出席謝金： 会議日の翌月 21 日払
- ・ 第 2 回会議： 月 日（ ） 時 分～

5 閉 会

令和8年度 教育行政評価事業一覧

基本目標	基本政策	整理番号	事業名	R8外部評価対象
Ⅰ 子育てなら 北栄町	① すこやかな発育支援	1	利用者支援事業	
		2	発達支援体制整備事業(特別支援の充実)	
		3	発達支援体制整備事業(発達相談)	
		4	子育て支援短期利用事業、子育て世帯訪問支援事業、産後ケア事業	
		5	1歳児すくすく教室事業	
	② 未就園乳幼児への支援	6	子育て総務事業(一時預かり事業)	
		7	子育て総務事業(誰でも通園事業)	
		8	地域子育て支援拠点事業	
		9	ファミリー・サポート・センター事業	
		10	乳幼児おむつ給付事業	○
	③ 幼児教育・保育の充実	11	子育て支援体制整備事業(こども園職員の資質向上)	
		12	こども園管理運営事業(施設・設備の整備)	
		13	こども園ICT化事業	○
	④ 子育て家庭の支援	14	放課後児童クラブ委託事業、放課後児童クラブ施設管理事業	
		15	在宅育児支援事業	
		16	乳幼児健康支援一時預かり事業	
		17	休日保育事業	
		18	子ども家庭センター(機能)	
	⑤ 地域社会で関わる子育て支援	19	こども園管理運営事業(北栄町同日公開日)	
		20	パパママ教室プラス、笑育講座	
Ⅱ 教育なら 北栄町	① 確かな学力を育む教育の推進	21	事務局関係負担金事業(少人数学級)	
		22	教育力向上事業(学び力向上アクション週間の取組み)	
		23	教育力向上事業(授業研究事業(講師招へい、視察))	
		24	教育力向上事業(学力検査の実施)	
		25	GIGAスクール構想整備事業	
		26	教育力向上事業(サマースクール)	
		27	高校生等通学費助成事業	
	② 豊かな心と社会性を育む教育の推進	28	職場体験学習(ワクワク北条、わくわく大栄)	
		29	教育力向上事業(いじめ対策事業)	
		30	中学校管理事業(中学校での心の教室相談事業)	
		31	教育力向上事業(生き方を学ぶ講演会)	
		32	教育力向上事業(より良い学校生活を送るためのハイパーQU調査)	
		33	学校支援地域事業(SSW・校内教育支援センター支援員の活用)	○
		34	フリースクール利用料軽減事業	
	③ 健やかな体を育てる教育の推進	35	給食費事業(食育推進、地産地消の推進)	
		36	中学校管理事業(部活動推進事業)	
	④ 保・こ・小・中・高連携の充実	37	教育力向上事業(向ヶ丘レインボープラン・ドリームプロジェクトX)	
	⑤ 特別支援教育の充実	38	幼児通級指導教室設置事業	○
		39	言語通級指導教室事業・発達通級指導教室事業	
	⑥ グローバル化に対応できる教育の推進	40	小学校外国語教育活動事業	
		41	外国指導助手(ALT)派遣事業	○
		42	教育力向上事業(イングリッシュスクール、英検助成)	
	⑦ 家庭と地域で育む教育の推進	43	コミュニティスクール推進体制構築事業	
		44	教育力向上事業(地域でこどもを育てる体験活動)	
		45	事務局事業(北栄町同日公開日)	
		46	社会教育推進事業(家庭教育12か条)	
		47	子どもほくえい塾事業	
	⑧ 安全で快適な教育施設の整備	48	小中学校管理事業(大規模改造・長寿命化改修)	

基本目標	基本政策	整理 番号	事業名	R8外部評 価対象
Ⅲ 住み続け るなら北栄町	① 人権を尊重するまちづくりの推進	49	人権啓発活動事業	
		50	児童館運営事業	
		51	人権を学ぶ会事業	○
		52	ほくほクラブ事業	
		53	隣保館運営事業	
	② 安心して活力ある地域づくりの推進	54	通学路安全対策事業	
	③ 青少年の健全育成の推進	55	ひとり親家庭等学習支援事業(生活困窮世帯等学習支援事業)	
		56	就学支援費支給事業	
		57	青少年育成町民会議交付金事業	
		58	成人式事業	○
	④ 親しみの持てる生涯学習の推進	59	社会教育団体活動費補助金事業	
		60	社会教育推進事業(出前講座・おとなほくえい塾)	
		61	公民館運営事業	
		62	公民館講座事業	
		63	展示・鑑賞・発表経費事業	
	⑤ スポーツ・文化活動の推進	64	保健体育振興事業(スポーツ・文化芸術全国大会等出場奨励金事業)	
		65	ウォーキングのまち北栄町推進事業	
		66	北栄スポーツクラブ事業	
		67	訪問型ニュースポーツ体験事業	
		68	すいか・ながいも健康マラソン大会事業	
		69	青少年劇場巡回公演委託事業	
		70	芸術文化活動促進事業	
		71	北栄文化回廊事業	
		72	文化財保護対策事業(民俗芸能伝承事業)	
		73	北栄文芸編集・発刊事業	○
		74	民芸実習館事業	
		75	町文化団体協議会補助金事業	
	⑥ 暮らしに役立つ図書館づくりの推進	76	図書館運営事業	
		77	図書館運営事業(図書館講座・教室事業)	○
		78	絵本でつながるまちづくり事業	
	⑦ 地域を学び、まちを支える人づくりの推進	79	地域副読本作成活用事業	
		80	歴史民俗資料館(北栄みらい伝承館)展示事業	○
		81	文化財保護対策事業	
		82	町内遺跡発掘調査事業	
		83	ウォーキングのまち北栄町推進事業(歴史探訪ウォーク)	
		84	中学校教育振興事業(中学生と町長が語る会)	

					整理番号	13	外部					
					担当課名	教育総務課						
事業名	こども園ICT化事業				担当	浜本						
教育大綱	基本目標	I 子育てなら北栄町										
	基本施策	③ 幼児教育・保育の充実										
事業目的・概要	こども園における登降園管理や保護者との連絡、帳票作成等にICTシステムを導入し業務を効率化及び省力化することで職員の負担軽減を図り、保育教諭の労働環境の改善、保育の質の向上につなげる。											
主な内容及び経費等	○ICTシステム運用 ・インターネット回線使用料(3園):通信運搬費 206千円 ・システム使用料(3園) 使用料:1,505千円											
目標と評価のポイント	業務におけるICTの利活用率の向上 業務の効率化が進んでいるか。紙媒体の削減が進んでいるか。											
評価指標 (数値目標) 評点:達成率(最大3つ)の平均値 90～100% → 50点 70～89% → 40点 50～69% → 30点 30～49% → 20点 10～29% → 10点 0～9% → 0点	評価項目		R8 中間 期末		R9 中間 期末		R10 中間 期末		R11 中間 期末		R12 中間 期末	
	ICTシステム(アイテム)の拡充	目標値(当初)	1つ									
		実績値	1	1								
		達成率(%)	100%	100%								
	時間外時間の減少(対前年度比)	目標値(当初)	2%									
		実績値	1%	1.5%								
		達成率(%)	50%	75%								
	連絡帳ツールの活用	目標値(当初)	95%以上									
		実績値	80	85								
		達成率(%)	84%	89%								
平均達成率		78%		88%								
評点(配点50点)		40点		40点								
事業コスト 評点:コスト削減(実績減以外)または事業効果の拡大が計れたか 0～10点	区 分		R8		R9		R10		R11		R12	
	予算額(千円) ※当初+補正		1,711									
	職員数(人役) 例:正:0.2、会任:0.3 など		正:0.1									
	決算(見込)額(千円) ※期末に記載		1,505									
評点(配点10点)		5点										
中間分析 評点:中間の自己評点 計画どおりに問題事項も無く大変順調に進んでいる10点～全く進んでおらず問題点も多い0点 (中間のみ加点)	進捗状況	ICTシステムの機能追加は調整困難で計画どおりに進んでいない。12月実施を予定。 ICTの活用の効果もあり、時間外勤務は若干縮小している							評点 (配点10点)	4点		
	課題事項	連絡帳ツールの活用と、技量において職員に差が見られる。全体の活用の底上げが必要。										
事業評価 (期末)	事業の妥当性 (施策目達成の手段として適当か) 評点:妥当6点 やや妥当4点 あまり妥当でない2点 妥当でない0点		妥当	評価の理由・補足説明	特に画像データの共有において効果が高い				評点 (配点各6点)	6点		
	事業の有効性 (目的達成に有効な事業であったか) 評点:有効6点 やや有効4点 あまり有効でない2点 有効でない0点		有効		*****					6点		
	事業の効率性 (費用対効果はどうであったか) 評点:効率的6点 やや効率的4点 あまり効率的でない2点 効率的でない0点		やや効率的		*****					4点		
	事業(サービス)の公平性 (対象や受益者負担の設定は適切だったか) 評点:公平6点 やや公平4点 あまり公平でない2点 公平でない0点		公平		*****					6点		
	事業の実施状況 (取り組みが予定どおり進捗したか) 評点:予定どおりすべて実施6点 ほぼ予定どおり実施4点 あまり妥当でない2点 実施不十分0点		ほぼ予定どおり実施		*****					4点		
期末分析と今後の方針 評点:期末の自己評点 計画どおりすべて完了し問題も無い10点～全く進んでおらず課題解決できていない0点 (期末のみ加点)	計画どおりに事業実施できた。職員の時間が勤務も昨年度よりも減少している。 連絡帳ツールの効果的な使用方法の職員研修により、更なる効率化を図る必要がある						評点 (配点10点)	7点				
外部評価 (学識経験者)	中間	B	コメント	*****				中間評点合計 (内部評価) 60点満点	44点			
	期末	B	コメント	*****				期末評点合計 (内部評価) 100点満点	78点			

※「事業名」「基本目標」「基本施策」「事業目的・概要」「主な内容及び経費等」は今年のしごとより自動入力。 複数の目標等に関係している場合は、主な目標等を表示してい

※「本年度目標」の達成状況を何をもって評価するのかを記入してください。例:「参加者数が増加しているかどうか」「事業の周知ができたかどうか」。

※「本年度の目標」「評価のポイント」の達成状況を具体的に評価できるような数値を指標としてください。目標値が達成基準となります。

※「評価項目」は各室協議のうえ、適切な設定に努めてください。最終的に課長が確認してください。

※評価指標の項目の数は、3つ以内としてください。

※「目標値」は最終目標値を記載してください。

※各室で協議のうえ、最終的に課長が確認してください。

※教育振興計画(R8～12)で次年度以降の指標、目標値がすでに決まっている場合は、予め記載してください。

※評価指標を割合(例:●%、◇割)とする場合は、実績欄には積算数値も併記(例:6割(30/50人))してください。

評点 達成率(最大3つ)の平均値 90～100% → 50点

達成率(最大3つ)の平均値 70～89% → 40点

達成率(最大3つ)の平均値 50～69% → 30点

達成率(最大3つ)の平均値 30～49% → 20点

達成率(最大3つ)の平均値 10～29% → 10点

達成率(最大3つ)の平均値 0～9% → 0点

※「予算額」は書類作成時の現計予算額としてください。

※担当者の認識に基づき事業の対応人役を計算して記載すること(上記予算に含む、含まないにかかわらず)

※「決算額」は過年度分には記載。評価当年度分以降の年度分には記載不要。千円未満の端数は切り上げ。

評点:コスト削減(実績減以外)または事業効果の拡大が計れたか 0～10点

※特に外部評価事業となっている事業についてはできるだけ詳細に記載してください。(客観的評価ができるよう)

評点:中間分析における自己評点 0～5点

※ない場合は空欄にせず、「特になし」など記載すること

評点:中間分析における自己評点 0～5点

※事業の妥当性・・・「妥当」「やや妥当」「あまり妥当でない」「妥当でない」より選択

評点:妥当6点 やや妥当4点 あまり妥当でない2点 妥当でない0点

※事業の有効性・・・「有効」「やや有効」「あまり有効でない」「有効でない」より選択

評点:有効6点 やや有効4点 あまり有効でない2点 有効でない0点

※事業の効率性・・・「効率的」「やや効率的」「あまり効率的でない」「効率的でない」より選択

評点:効率的6点 やや効率的4点 あまり効率的でない2点 効率的でない0点

※事業(サービス)の公平性・・・「公平」「やや公平」「あまり公平でない」「公平でない」より選択

評点:公平6点 やや公平4点 あまり公平でない2点 公平でない0点

※事業の実施状況・・・「予定どおりすべて実施」「ほぼ予定どおり実施」「やや実施不十分」「不十分」より選択

評点:予定どおりすべて実施6点 ほぼ予定どおり実施4点 あまり妥当でない2点 実施不十分0点

記載式

評点:期末分析における自己評点 0～5点

<期末評価の目安>

A評価: 合計90～100点(%)

B評価: 合計70～89点(%)

C評価: 合計40～69点(%)

D評価: 合計0～39点(%)